

目次

下巻

はじめに.....	iii
本書のターゲット OS.....	iv

下巻 序章 コマンド入門 1

コマンドの文法について.....	2
コマンドプロンプトの起動方法.....	4
コマンドを体験してみよう.....	5
コマンド実行の仕組み.....	5
ファイル名/フォルダ名の制約.....	7
ファイルやフォルダの指定方法.....	8
リダイレクトとパイプ.....	9
コマンドの連結.....	10
コマンドプロンプトの補助機能.....	10
Sysinternalsのユーティリティ.....	11

下巻 Chapter 1 ネットワークコマンド編 13

Arp.exe IPアドレスとMACアドレスの対応表を管理する.....	14
Dnscmd.exe DNSのゾーンやレコードを管理する.....	15
Dnscmd /ActiveRefreshAllTrustPoints トラストポイントのアクティブ更新を実行する.....	18
Dnscmd /AgeAllRecords レコードのタイムスタンプを現在の日時に設定する.....	18
Dnscmd /ClearCache キャッシュされた参照情報を削除する.....	19
Dnscmd /Config DNSサーバ/ゾーンの設定を変更する.....	19
Dnscmd /CreateBuiltinDirectoryPartitions DNS用の既定のディレクトリパーティションを作成する.....	32
Dnscmd /CreateDirectoryPartition カスタムディレクトリパーティションを作成する.....	33
Dnscmd /DeleteDirectoryPartition ディレクトリパーティションを削除する.....	33

Dnscmd /DirectoryPartitionInfo	
ディレクトリパーティションの情報を表示する	34
Dnscmd /EnlistDirectoryPartition	
ディレクトリパーティションの複製パートナーを追加する	34
Dnscmd /EnumDirectoryPartitions	
ディレクトリパーティションを表示する	35
Dnscmd /EnumKSPs	
キー記憶域プロバイダを表示する	36
Dnscmd /EnumRecords	
条件に一致するレコードを表示する	36
Dnscmd /EnumTrustAnchors	
トラストアンカーの状態を表示する	37
Dnscmd /EnumTrustPoints	
トラストポイントの情報を表示する	38
Dnscmd /EnumZones	
ゾーンを表示する	39
Dnscmd /ExportSettings	
DNSサーバの設定をエクスポートする	40
Dnscmd /Info	
DNSサーバの設定を表示する	41
Dnscmd /IpValidate	
DNSサーバが有効か検証する	42
Dnscmd /NodeDelete	
ノードと関連レコードを削除する	42
Dnscmd /OfflineSign	
DNSSEC用の署名鍵を操作する	43
Dnscmd /RecordAdd	
ゾーンにレコードを作成/更新する	48
Dnscmd /RecordDelete	
ゾーンからレコードを削除する	50
Dnscmd /ResetForwarders	
フォワーダを設定する	51
Dnscmd /ResetListenAddresses	
DNSサーバが待ち受けるインターフェイスを設定する	51
Dnscmd /RetrieveRootTrustAnchors	
ルートトラストアンカーを取得してDSレコードに登録する	52
Dnscmd /StartScavenging	
レコードの清掃を開始する	53
Dnscmd /Statistics	
DNSサーバの統計情報を表示する	53
Dnscmd /TrustAnchorAdd	
トラストアンカーゾーンを作成する	55
Dnscmd /TrustAnchorDelete	
トラストアンカーゾーンを削除する	56

Dnscmd /TrustAnchorsResetType トラストアンカーゾーンの種類を設定する	57
Dnscmd /UnEnlistDirectoryPartition ディレクトリパーティションの複製パートナーを削除する	57
Dnscmd /WriteBackFiles 全ゾーン情報をファイルやディレクトリに書き込む	58
Dnscmd /ZoneAdd ゾーンを新規作成する	58
Dnscmd /ZoneAddSKD 新しいゾーン署名キー記述子 (SKD) を作成する	59
Dnscmd /ZoneChangeDirectoryPartition AD統合ゾーンの格納先パーティションを変更する	61
Dnscmd /ZoneDelete ゾーンを削除する	62
Dnscmd /ZoneDeleteSKD SKDをゾーンから削除する	62
Dnscmd /ZoneEnumSKDs SKDを表示する	63
Dnscmd /ZoneExport ゾーンの情報をエクスポートする	64
Dnscmd /ZoneGetSKDState SKDのアクティブキーなどを表示する	65
Dnscmd /ZoneInfo ゾーンの設定を表示する	65
Dnscmd /ZoneModifySKD SKDを変更する	66
Dnscmd {/ZonePause /ZoneResume} ゾーンを一時停止／再開する	67
Dnscmd /ZonePerformKeyRollover SKDのロールオーバーを実行する	68
Dnscmd /ZonePokeKeyRollover キー署名キー (KSK) のロールオーバーを実行する	69
Dnscmd /ZonePrint ゾーン内のレコードを表示する	69
Dnscmd /ZoneRefresh ゾーン転送を実行してゾーン情報を更新する	70
Dnscmd /ZoneReload ファイルやディレクトリからゾーン情報を読み込みなおす	70
Dnscmd /ZoneResetMasters ゾーンのマスターサーバを変更する	71
Dnscmd /ZoneResetScavengeServers ゾーン情報の清掃を許可するサーバを変更する	71
Dnscmd /ZoneResetSecondaries ゾーンのセカンダリ通知情報を変更する	72

Dnscmd /ZoneResetType ゾーンの種類を変更する	73
Dnscmd /ZoneResign ゾーンの署名を再生成する	74
Dnscmd /ZoneSeizeKeyMasterRole キーマスタの役割を強制転送する	74
Dnscmd /ZoneSetSKDState SKDのアクティブ/スタンバイキーを設定する	75
Dnscmd /ZoneSign ゾーンに署名する	75
Dnscmd /ZoneTransferKeyMasterRole キーマスタの役割を通常転送する	76
Dnscmd /ZoneUnsign ゾーンの署名を削除する	76
Dnscmd /ZoneUpdateFromDs AD統合ゾーンのゾーン情報を更新する	77
Dnscmd /ZoneValidateSigningParameters ゾーンのDNSSECオンライン署名パラメータを検証する	77
Dnscmd /ZoneWriteBack ゾーン情報をディレクトリやファイルに書き込む	78
Ftp.exe ファイル転送プロトコル(FTP)でファイルを送受信する	78
Getmac.exe MACアドレスを表示する	82
Hostname.exe コンピュータ名を表示する	83
Ipconfig.exe ネットワーク接続のTCP/IP構成情報を操作する	83
Nbtstat.exe NBT(NetBIOS over TCP/IP)の統計情報を表示する	85
Net.exe ユーザーアカウントやサービスなどを操作する	86
Net Accounts アカウントポリシーを設定する	87
Net Computer ドメインでコンピュータアカウントを操作する	88
Net Config Server/Workstationサービスを設定作する	89
Net File 使用中の共有ファイルを操作する	91
Net Group ドメインの非ビルトイングループとメンバーシップを操作する	91
Net Help Netコマンドのスイッチとオプションの詳しい使い方を表示する	93

Net HelpMsg	
エラーコードの説明を表示する	94
Net LocalGroup	
ローカルグループとメンバーシップを操作する	94
Net Name	
メッセージの宛先の別名を操作する	95
Net Print	
共有プリンタへの印刷ジョブを操作する	96
Net Send	
Messengerサービスを通じてメッセージを送信する	97
Net Session	
共有資源の利用状況を管理する	98
Net Share	
共有資源を表示または設定する	98
Net {Start Stop Pause Continue}	
サービスを開始/停止/一時停止/再開する	100
Net Statistics	
Server/Workstationサービスの統計情報を表示する	101
Net Time	
システムの日時をタイムサーバと同期する	102
Net Use	
共有資源を利用する	103
Net User	
ドメイン/ローカルのユーザーアカウントを操作する	105
Net View	
共有資源とキャッシュ設定を表示する	108
Netsh.exe	
ネットワークシェルコマンドラインスクリプトユーティリティ	109
Netsh AdvFirewall	
Windows ファイアウォールの送受信規則とIPsecの設定を操作する	112
Netsh BranchCache	
ブランチキャッシュを操作する	117
Netsh Bridge	
ネットワークブリッジを操作する	118
Netsh DhcpClient	
DHCPクライアントの動作を確認する	119
Netsh DnsClient	
DNSクライアントを操作する	119
Netsh Firewall	
Windows ファイアウォールを操作する	121
Netsh Http	
HTTP.sysの設定を操作する	122
Netsh Interface	
ネットワークインターフェイスとTCP/IPを操作する	124

Netsh Ipsec	
IPsecを操作する	135
Netsh IpsecDosProtection	
IPsec DoS Protectionの設定を操作する	140
Netsh Lan	
有線LANの接続とセキュリティ設定を操作する	141
Netsh Mbn	
モバイルブロードバンドネットワークを操作する	142
Netsh Namespace	
DNS名前解決ポリシーテーブルを操作する	144
Netsh Netlo	
NetIOの設定を操作する	145
Netsh Nlml	
ネットワーク接続と接続コストを操作する	146
Netsh P2p	
ピアツーピアネットワークを操作する	147
Netsh Ras	
ルーティングとリモートアクセスサービスを操作する	148
Netsh Rpc	
リモートプロシージャコールを操作する	152
Netsh Trace	
ネットワークトレースを操作する	153
Netsh Wcn	
Windows Connect Nowを操作する	154
Netsh Wfp	
Windowsフィルタプラットフォームを操作する	155
Netsh WinHttp	
WinHTTPのプロキシ設定を操作する	156
Netsh WinSock	
WinSockの設定を操作する	156
Netsh Wlan	
無線LANの接続とセキュリティ設定を操作する	157
Netstat.exe	
通信状態とプロトコルの統計情報を表示する	159
Nslookup.exe	
DNSサーバにドメインやホストなどの情報を問い合わせる	161
Pathping.exe	
ターゲットとの疎通を確認し通信状況を診断する	165
Ping.exe	
通信経路やターゲットとの疎通を診断する	166
Route.exe	
IPのルーティングテーブルを操作する	168
Tracert.exe	
通信経路を探索して応答時間をチェックする	170

Winrs.exe	
リモートコンピュータでコマンドを実行する	172

下巻 Chapter 2 ドメインとグループポリシー編 175

Adprep.exe	
Active Directoryのフォレスト/ドメインを準備する	176
Auditpol.exe	
監査ポリシーを操作する	178
Auditpol {/Backup /Restore}	
監査ポリシーの設定をファイルに保存/復元する	178
Auditpol /Clear	
監査ポリシーを削除する	179
Auditpol /Get	
監査ポリシーの設定を表示する	180
Auditpol /List	
監査ポリシーのカテゴリを表示する	181
Auditpol /Remove	
ユーザー別の監査ポリシーを削除する	182
Auditpol /ResourceSacl	
グローバル監査ポリシーを設定する	183
Auditpol /Set	
監査ポリシーの設定を編集する	185
Csvde.exe	
CSVファイルを使ってディレクトリオブジェクトを編集する	186
Dcdiag.exe	
ドメインコントローラを診断する	189
Dcgpfix.exe	
ドメインの既定のグループポリシーオブジェクトを再作成する	192
Dcpromo.exe	
ドメインコントローラを昇格/降格する	194
Djoin.exe	
オフラインでドメインに参加する	199
Dsacls.exe	
ディレクトリオブジェクトのアクセス権を操作する	202
Dsamain.exe	
ディレクトリデータベースをオフラインで操作する	205
Dsadd.exe	
ディレクトリにオブジェクトを登録する	207
Dsadd Computer	
コンピュータオブジェクトを登録する	209
Dsadd Contact	
連絡先オブジェクトを登録する	209

Dsadd Group	
グループオブジェクトを登録する	210
Dsadd Ou	
組織単位 (OU) オブジェクトを登録する	211
Dsadd Quota	
ディレクトリパーティションにクォータを登録する	212
Dsadd User	
ユーザーオブジェクトを登録する	213
Dsget.exe	
ディレクトリからオブジェクトの属性を取得する	215
Dsget Computer	
コンピュータオブジェクトの属性を取得する	217
Dsget Contact	
連絡先オブジェクトの属性を取得する	218
Dsget Group	
グループオブジェクトの属性を取得する	219
Dsget Ou	
組織単位 (OU) オブジェクトの属性を取得する	220
Dsget Partition	
ディレクトリパーティションの情報を取得する	220
Dsget Quota	
クォータの属性を取得する	221
Dsget Server	
ディレクトリサーバの属性を取得する	222
Dsget Site	
サイトオブジェクトの属性を取得する	223
Dsget Subnet	
サブネットオブジェクトの属性を取得する	223
Dsget User	
ユーザーオブジェクトの属性を取得する	224
Dsmod.exe	
ディレクトリのオブジェクトを編集する	227
Dsmod Computer	
コンピュータオブジェクトを編集する	228
Dsmod Contact	
連絡先オブジェクトを編集する	229
Dsmod Group	
グループオブジェクトを編集する	230
Dsmod Ou	
組織単位 (OU) オブジェクトを編集する	231
Dsmod Partition	
ディレクトリパーティションの設定を編集する	231
Dsmod Quota	
クォータを編集する	232

Dsmod Server	
ディレクトリサーバの設定を編集する	232
Dsmod User	
ユーザーオブジェクトを編集する	233
Dsmove.exe	
オブジェクトを移動/改名する	236
Dsquery.exe	
ディレクトリからオブジェクトを検索する	237
Dsquery Computer	
コンピュータオブジェクトを検索する	239
Dsquery Contact	
連絡先オブジェクトを検索する	239
Dsquery Group	
グループオブジェクトを検索する	240
Dsquery Ou	
組織単位(OU)オブジェクトを検索する	241
Dsquery Partition	
ディレクトリパーティションを検索する	241
Dsquery Quota	
クォータを検索する	241
Dsquery Server	
ディレクトリサーバを検索する	242
Dsquery Site	
サイトオブジェクトを検索する	243
Dsquery Subnet	
サブネットオブジェクトを検索する	243
Dsquery User	
ユーザーオブジェクトを検索する	244
Dsquery *	
任意のオブジェクトをLDAPクエリで検索する	245
Dsrm.exe	
ディレクトリからオブジェクトを削除する	245
Dsdbutil.exe	
AD DSとAD LDSのディレクトリデータベースを管理する	247
Dsdbutil Authoritative Restore	
ディレクトリデータベースやオブジェクトを復元する	249
Dsdbutil Files	
ディレクトリデータベースファイルを管理する	250
Dsdbutil Ifm	
IFM用のインストールメディアを作成する	252
Dsdbutil Semantic Database Analysis	
ディレクトリデータベースのデータ整合性を検査する	253
Dsdbutil Snapshot	
ディレクトリデータベースのスナップショットを管理する	254

Dsmgmt.exe	
ディレクトリシステムエージェント (DSA) の構成を管理する	255
Dsmgmt Configurable Settings	
動的オブジェクトの設定を操作する	257
Dsmgmt Ds Behavior	
パスワードリセットを許可/拒否する	258
Dsmgmt Group Membership Evaluation	
ユーザーやグループのメンバーシップを評価する	259
Dsmgmt Ldap Policies	
LDAPクエリのポリシーを設定する	261
Dsmgmt Local Roles	
RODCのARSを管理する	261
Dsmgmt Metadata Cleanup	
ディレクトリデータベースからオブジェクトを削除する	262
Dsmgmt Partition Management	
ディレクトリパーティションを管理する	264
Dsmgmt Roles	
AD DSのFSMOを管理する	266
Dsmgmt Security Account Management	
セキュリティIDの重複を検査する	267
Dsmgmt Set Dsrn Password	
ディレクトリサービスの修復モード管理者アカウントのパスワードを設定する	268
Dsregcmd.exe	
オンプレミスのADとAzure ADでのデバイスの状態を表示する	268
Gpfixup.exe	
ドメイン名の変更後にグループポリシーオブジェクトを修正する	269
Gpresult.exe	
ポリシーの結果セットを表示する	271
Gpupdate.exe	
グループポリシーを適用して更新する	273
Klist.exe	
キャッシュされたKerberosチケットを操作する	274
Ktpass.exe	
統合Windows認証用に.keytabファイルを生成する	276
Ldifde.exe	
LDIFファイルを使ってディレクトリオブジェクトを編集する	278
Netdom.exe	
ドメインと信頼関係を管理する	282
Netdom Add	
ドメインにコンピュータアカウントを登録する	284
Netdom ComputerName	
プライマリ/代替コンピュータ名を編集する	284
Netdom Join	
コンピュータをドメインに参加させる	286

Netdom Move	
コンピュータを別のドメインに移動する	286
Netdom MoveNt4Bdc	
バックアップドメインコントローラの参加ドメイン名を変更する	287
Netdom Query	
ドメインの情報を照会する	287
Netdom Remove	
ドメインからコンピュータを削除する	288
Netdom RenameComputer	
コンピュータ名を変更する	289
Netdom Reset	
セキュアチャネルをリセットする	290
Netdom ResetPwd	
コンピュータアカウントパスワードをリセットする	291
Netdom Trust	
フォレスト/ドメインの信頼関係を検証する	291
Netdom Verify	
セキュアチャネルの状態を検証する	294
Nltest.exe	
ドメインと信頼関係を診断する	295
Ntdsutil.exe	
ドメインコントローラとディレクトリサーバを対話的に操作する	299
Redircmp.exe	
コンピュータオブジェクトの既定の登録先を変更する	300
Redirusr.exe	
ユーザーオブジェクトの既定の登録先コンテナを変更する	301
Random.exe	
ドメイン名を変更する	301
Repadmin.exe	
ディレクトリサーバ間のオブジェクト複製を診断する	304
Repadmin /Add	
一時的な複製リンク(入力側)を作成する	308
Repadmin /AddRepsTo	
一時的な複製リンク(出力側)を作成する	310
Repadmin /Bind	
複製設定を表示する	310
Repadmin /Bridgeheads	
サイトのブリッジヘッドサーバを表示する	312
Repadmin /CheckProp	
ディレクトリサーバが最新の状態を確認する	313
Repadmin /Delete	
一時的な複製リンク(入力側)を削除する	314

Repadmin /DelRepsTo 一時的な複製リンク(出力側)を削除する	314
Repadmin /DnsLookup IPアドレスを照会する	315
Repadmin /DsaGuid ディレクトリサーバのフレンドリ名を照会する	315
Repadmin /FailCache KCCが検出した複製の問題を表示する	316
Repadmin /Istg サイト間トポロジジェネレータのサーバ名を表示する	317
Repadmin /Kcc KCCを実行して入力方向の複製トポロジを再計算する	317
Repadmin /Latency 複製待ち時間を表示する	318
Repadmin /Mod 一時的な複製リンク(入力側)を変更する	319
Repadmin /NotifyOpt 複製の通知待ち時間を表示/設定する	320
Repadmin /Options グローバルカタログと複製オプションを設定する	321
Repadmin /Prp RODCのパスワード複製ポリシーを設定する	322
Repadmin /QuerySites サイト間の複製コストを表示する	323
Repadmin /Queue 入力方向の複製待ち要求を表示する	323
Repadmin /RebuildGc グローバルカタログ(GC)を再構築する	324
Repadmin /RegKey NTDSサービス用のレジストリ値を設定する	325
Repadmin /Rehost 読み取り専用の名前付けコンテキストを削除して再同期する	326
Repadmin /RemoveLingeringObjects 残留オブジェクトを確認し削除する	327
Repadmin /RemoveSources 複製リンクを削除する	328
Repadmin /ReplAuthMode AD LDSの複製認証モードを設定する	329
Repadmin /Replicate 名前付けコンテキストを複製する	330
Repadmin /ReplSingleObj 特定のオブジェクトを複製する	331
Repadmin /ReplSummary 複製状態の要約を表示する	331

Repadmin /RodsPwdRepl RODCにパスワードを複製する	332
Repadmin /SetAttr オブジェクトの属性の設定値を操作する	333
Repadmin /ShowAttr オブジェクトの属性の設定値を表示する	334
Repadmin /ShowBackup 名前付けコンテキストのバックアップ状況を表示する	335
Repadmin /ShowChanges 未複製の変更または統計情報を表示する	336
Repadmin /ShowConn 接続オブジェクトを表示する	338
Repadmin /ShowCert SMTPベースの複製に使用する証明書を表示する	339
Repadmin /ShowCtx セッションを開いたディレクトリサーバを表示する	340
Repadmin /ShowIsm サイト間メッセージングルート情報を表示する	340
Repadmin /ShowNcSig 削除された名前付けコンテキストのGUIDを表示する	341
Repadmin /ShowMsg エラー番号／イベントIDに対応するメッセージを表示する	342
Repadmin /ShowObjMeta オブジェクトのメタデータを表示する	343
Repadmin /ShowOutCalls 出力方向の呼び出しの一覧を表示する	344
Repadmin /ShowProxy ドメイン間で移動したオブジェクトのマーカー情報を表示する	344
Repadmin /ShowRepl 入力方向の複製の状態を表示する	345
Repadmin /ShowScp サービス接続ポイントを表示する	347
Repadmin /ShowSig 使用を中止した起動IDを表示する	347
Repadmin /ShowTime ディレクトリサービスの時間値を変換する	348
Repadmin /ShowTrust フォレスト内の信頼するドメイン名を表示する	348
Repadmin /ShowUtdVec 更新シーケンス番号の最大値を表示する	348
Repadmin /ShowValue オブジェクトの種類／属性／最終更新日時などを表示する	349
Repadmin /SiteOptions サイトの複製属性を設定する	350

Repadmin /SyncAll	
すべての複製パートナーと複製を実行する	351
Repadmin /Unhost	
読み取り専用の名前付けコンテキストをグローバルカタログから削除する	353
Repadmin /UpdRepsTo	
一時的な複製リンク (出力側) を更新する	353
Repadmin /ViewList	
ディレクトリサーバを表示する	354
Repadmin /WriteSpn	
サービスプリンシパル名を設定する	355
Secedit.exe	
システムのアクセス権とセキュリティ設定を構成する	355
Secedit /Analyze	
システム設定とセキュリティデータベース内の設定を照合する	357
Secedit /Configure	
セキュリティデータベース内の設定でシステムを構成する	358
Secedit /Export	
セキュリティデータベース内の設定をファイルに出力する	358
Secedit /GenerateRollback	
ロールバックテンプレートファイルを作成する	359
Secedit /Import	
セキュリティテンプレートの設定をセキュリティデータベースに書き込む	360
Secedit /Validate	
セキュリティテンプレートファイルの構文を検証する	360
Secedit /RefreshPolicy	
グループポリシーを再適用する	361
Setspn.exe	
サービスプリンシパル名 (SPN) を操作する	361

Change.exe	
リモートデスクトップセッションホストの設定を操作する	366
Change Logon (Chglogon.exe)	
セッションログオンの設定とログオンモードを表示する	366
Change Port (Chgport.exe)	
シリアルポートなどの割り当てを設定する	367
Change User (Chgusr.exe)	
アプリケーションのインストールモードを設定する	368
Msg.exe	
リモートデスクトップを利用中のユーザーにメッセージを送信する	369
Mstsc.exe	
リモートデスクトップに接続する	370

Query.exe	
リモートデスクトップセッションの状態を表示する	372
Query Process (Qprocess.exe)	
プロセス情報を表示する	372
Query Session (Qwinsta.exe)	
セッション情報を表示する	373
Query TermServer (Qappsrv.exe)	
リモートデスクトップセッションホストを検索する	375
Query User (Quser.exe)	
ユーザー情報を表示する	375
Rdpsign.exe	
RDPファイルにデジタル署名を付加する	376
Reset.exe (Rwinsta.exe)	
リモートデスクトップセッションをリセットする	377
Shadow.exe	
リモートデスクトップセッションで画面共有と操作を実行する	378
Tscon.exe	
既存のリモートデスクトップセッションに接続する	379
Tsdiscon.exe	
接続中のリモートデスクトップセッションを切断する	380
Tskill.exe	
リモートデスクトップセッション中のプロセスを終了する	381
Tsprof.exe	
リモートデスクトップサービス用のユーザープロファイルを操作する	382

Bcdedit.exe	
ブート構成データ(BCD)を編集する	386
Bcdedit /BootEms	
エントリの緊急管理サービスを設定する	389
Bcdedit /BootDebug	
ブートデバッグを設定する	389
Bcdedit /BootSequence	
次回起動時1回限りのブートシーケンスを設定する	390
Bcdedit /Copy	
エントリをコピーする	391
Bcdedit /Create	
新しいエントリを作成する	391
Bcdedit /CreateStore	
BCDストアを新規作成する	392
Bcdedit /DbgSettings	
カーネルデバッグパラメータを設定する	393

Bcdedit /Debug	
ブートエントリのデバッグを設定する	395
Bcdedit /Default	
ブートメニュー選択の既定のエントリを設定する	395
Bcdedit /Delete	
エントリを削除する	396
Bcdedit /DeleteValue	
エントリのオプションを削除する	396
Bcdedit /DisplayOrder	
ブートメニューのエントリ表示順を設定する	397
Bcdedit /Ems	
OSエントリの緊急管理サービスを設定する	397
Bcdedit /EmsSettings	
システム共通の緊急管理サービスを設定する	398
Bcdedit /Enum	
エントリを表示する	399
Bcdedit /Event	
リモートイベントログを設定する	400
Bcdedit /Export	
BCDをファイルに保存する	400
Bcdedit /HypervisorSettings	
ハイパーバイザデバッグ用に通信ポートを設定する	401
Bcdedit /Import	
BCDをファイルから復元する	402
Bcdedit /Mirror	
エントリのミラーを作成する	403
Bcdedit /Set	
エントリのオプションを設定する	403
Bcdedit /SysStore	
システムストアデバイスを設定する	404
Bcdedit /Timeout	
ブートメニューの選択タイムアウト時間を設定する	404
Bcdedit /ToolsDisplayOrder	
ツールメニューの表示順を設定する	404
Bootcfg.exe	
Boot.ini構成ファイルを編集する	405
Bootcfg /AddSw	
ブートオプションに既定のオプションを追加する	407
Bootcfg /Copy	
ブートエントリを複製する	408
Bootcfg /Dbg1394	
IEEE1394を使用したカーネルデバッグの環境を設定する	409
Bootcfg /Debug	
シリアルポートを使用したカーネルデバッグの環境を設定する	410

Bootcfg /Default	
既定のブートエントリを設定する	410
Bootcfg /Delete	
ブートエントリを削除する	411
Bootcfg /Ems	
緊急管理サービスを設定する	411
Bootcfg /Query	
ブートエントリと設定を表示する	412
Bootcfg /Raw	
ブートオプションに任意のオプションを追加する	413
Bootcfg /RmSw	
ブートオプションから既定のオプションを削除する	414
Bootcfg /Timeout	
OS選択のタイムアウト時間を設定する	414
Esentutl.exe	
ESEデータベースファイルを操作する	415
Esentutl /d	
データベースをデフラグする	416
Esentutl /g	
データベースの論理的な整合性を検査する	418
Esentutl /k	
データベースの物理的な整合性を検査する	419
Esentutl /m	
データベースの内容をダンプする	421
Esentutl /p	
破損したデータベースを修復する	424
Esentutl /r	
データベースを回復してクリーンな状態にする	425
Esentutl /u	
データベースをバージョンアップする	427
Esentutl /y	
データベースファイルをコピーする	428
Wbadmin.exe	
バックアップコマンドラインツール	429
Wbadmin Delete Catalog	
バックアップカタログを削除する	431
Wbadmin Delete Backup	
バックアップデータを削除する	431
Wbadmin Delete SystemStateBackup	
システム状態のバックアップイメージを削除する	432
Wbadmin Disable Backup	
バックアップスケジュールを停止する	433
Wbadmin Enable Backup	
バックアップスケジュールを作成／編集する	433

Wbadmin Get Disks	
ローカルコンピュータのディスクを表示する	437
Wbadmin Get Items	
バックアップに含まれる項目を表示する	437
Wbadmin Get Status	
現在実行中の操作の状態を表示する	438
Wbadmin Get Versions	
復元可能なバックアップイメージ情報を表示する	439
Wbadmin Get VirtualMachines	
Hyper-V仮想マシンを表示する	439
Wbadmin Restore Catalog	
バックアップカタログを復元する	440
Wbadmin Start Backup	
1回限りのバックアップを実行する	440
Wbadmin Start Recovery	
回復操作を開始する	442
Wbadmin Start SystemStateBackup	
システム状態のバックアップを開始する	444
Wbadmin Start SystemStateRecovery	
システム状態の回復操作を開始する	445
Wbadmin Stop Job	
実行中のバックアップや回復操作を中止する	448

curl.exe	
マルチプロトコル対応データ送受信コマンド	450
tar.exe	
tar形式のアーカイブファイルを操作する	453
Winget.exe	
Windows パッケージマネージャ	455
Winget Export	
パッケージ情報をファイルに書き出す	457
Winget Features	
試験的な機能の状態を表示する	458
Winget Hash	
ファイルのSHA256ハッシュ値を計算する	458
Winget Import	
エクスポートしたパッケージをインストールする	459
Winget Install	
パッケージをインストールする	460
Winget List	
インストールされたパッケージを表示する	461

Winget Search	
パッケージを検索する	462
Winget Settings	
Wingetコマンドの設定を編集する	462
Winget Show	
パッケージの詳細情報を表示する	463
Winget Source	
パッケージのインストールソースを管理する	463
Winget Uninstall	
パッケージを削除する	464
Winget Upgrade	
パッケージを更新する	465
Winget Validate	
マニフェストを検証する	466
scp.exe	
安全なファイルコピー	467
sftp.exe	
安全なファイル転送	469
ssh.exe	
リモートログインクライアント	474
ssh-add.exe	
認証エージェントに秘密鍵を追加する	478
ssh-agent.exe	
秘密鍵を保管する認証エージェント	480
ssh-keygen.exe	
認証用の鍵の生成と管理	482
ssh-keyscan	
ssh公開鍵を収集する	492
索引	495

上巻 (別売のため参考)

はじめに.....	iii
本書のターゲット OS	iv

上巻 序章 コマンド入門

1

コマンドの文法について.....	2
コマンドプロンプトの起動方法.....	4
コマンドを体験してみよう	5
コマンド実行の仕組み.....	5
ファイル名/フォルダ名の制約.....	7
ファイルやフォルダの指定方法.....	8
リダイレクトとパイプ.....	9
コマンドの連結.....	10
コマンドプロンプトの補助機能.....	10
Sysinternals のユーティリティ	11

上巻 Chapter 1 Cmd.exe の内部コマンド編

13

DIR フォルダ (DIRectory) の内容を表示する	14
CD、CHDIR 操作対象のフォルダを変更 (Change Directory) する	16
MD、MKDIR フォルダを作成 (Make Directory) する	17
RD、RMDIR フォルダを削除 (Remove Directory) する	18
PUSHD 現在のフォルダを保存 (PUSH Directory) して移動する	19
POPD 保存したフォルダを読み出して移動 (POP Directory) する	20
ASSOC ファイル拡張子の関連付け (Association) を設定する	20
COPY ファイルやフォルダをコピーする	21
MOVE ファイルを移動する/フォルダ名を変更する	22
DEL、ERASE ファイルを削除 (DELeTe) する	24
FTYPE ファイルタイプを設定する	25

MKLINK	
シンボリックリンクやハードリンクを作成する	26
REN、RENAME	
ファイルやフォルダの名前を変更 (REName) する	28
TYPE	
ファイルの内容を表示する	29
VERIFY	
ファイルデータ照合機能を設定する	30
CLS	
コンソールの表示を消去 (Clear Screen) する	30
COLOR	
文字色と背景色を設定する	31
ECHO	
メッセージを表示する	32
PROMPT	
入力プロンプトを設定する	33
TITLE	
ウィンドウタイトルを設定する	34
CALL	
バッチファイルやラベル行を呼び出す	34
EXIT	
コマンドプロンプトやバッチファイルを終了する	37
FOR	
データの集合を作成してコマンドを実行する	37
GOTO	
ラベル行に処理を移す	41
IF	
条件に応じて処理を分岐する	42
PAUSE	
キーを押すまで処理を止める	46
REM	
バッチファイルにコメント行 (REMArks) を記述する	46
SETLOCAL	
環境変数のローカル化を開始する	47
ENDLOCAL	
環境変数のローカル化を終了する	48
SHIFT	
変数の並びの間で値を送る	49
START	
コマンドやアプリケーションを開始する	50
DATE	
システムの日付を設定する	52
TIME	
システムの時刻を設定する	52

PATH	
実行可能ファイルの検索対象フォルダを設定する	53
SET	
環境変数を設定する	54
VER	
Windowsのバージョン番号を表示する	57
VOL	
ボリュームラベルとシリアル番号を表示する	58

Attrib.exe	
ファイルやフォルダの属性を設定する	62
Cacls.exe	
ファイルやフォルダのアクセス権を設定する	63
Chkdsk.exe	
ボリュームを検査してエラーを修復する	66
Cipher.exe	
ファイルやフォルダを暗号化する	69
Comp.exe	
ファイルを比較する	72
Compact.exe	
ファイルを圧縮する	74
Convert.exe	
ファイルシステムをFATからNTFSに変換する	76
Defrag.exe	
ファイルの断片化を解消する	77
Diskpart.exe	
ボリュームとパーティションを操作する	81
Diskshadow.exe	
ボリュームシャドウコピーを管理する	90
Expand.exe	
キャビネットファイルを展開する	94
Fc.exe	
ファイルを比較する	95
Find.exe	
ファイルをキーワードで検索する	96
Findstr.exe	
ファイルを正規表現で検索する	97
Format.com	
ボリュームをフォーマットする	99
Fsutil.exe	
ファイルシステムを操作する	103

Fsutil 8dot3Name	
8.3形式の短い名前の構成を設定する	104
Fsutil Behavior	
ファイルシステムの動作を設定する	105
Fsutil Bypasslo	
フォルダやファイルのBypassloの状態を表示する	110
Fsutil Dax	
直接アクセスストレージの設定を表示する	110
Fsutil Dirty	
ボリュームのダーティビットを設定する	111
Fsutil File	
ファイルを管理する	112
Fsutil FsInfo	
ファイルシステムの情報を表示する	114
Fsutil HardLink	
ファイルのハードリンクを作成する	116
Fsutil Objectld	
分散リンクトラッキング用のオブジェクトIDを管理する	116
Fsutil Quota	
ディスクの使用量制限を管理する	118
Fsutil Repair	
NTFSファイルシステムの自己修復機能を管理する	119
Fsutil ReparsePoint	
リパースポイント(再解析ポイント)を管理する	121
Fsutil StorageReserve	
記憶域予約領域を管理する	122
Fsutil Resource	
トランザクションリソースマネージャ (TRM)を管理する	123
Fsutil Sparse	
スパースファイル(疎ファイル)を管理する	125
Fsutil Tiering	
階層型ボリュームの階層化設定を管理する	126
Fsutil Trace	
NTFSのトレース情報を操作する	127
Fsutil Transaction	
NTFSのトランザクションを管理する	130
Fsutil Usn	
変更ジャーナルを管理する	131
Fsutil Volume	
ボリュームを管理する	133
Fsutil Wim	
Windows Image (WIM) サポート環境を管理する	135
Iccls.exe	
ファイルやフォルダのアクセス権を操作する	136

Label.exe	
ボリュームラベルを設定する	140
Makecab.exe	
キャビネットファイルを作成する	141
Manage-bde.exe	
BitLocker ドライブ暗号化機能でボリュームを暗号化する	145
Manage-bde -AutoUnlock	
データボリュームの自動ロック解除を設定する	147
Manage-bde -ChangeKey	
TPMで保護されたスタートアップキーを変更する	147
Manage-bde -ChangePassword	
データボリューム保護用のパスワードを変更する	148
Manage-bde -ChangePin	
個人識別番号 (PIN) を変更する	149
Manage-bde -ForceRecovery	
暗号化された OS ボリュームを回復モードにする	149
Manage-bde -KeyPackage	
ボリューム修復用のキーパッケージファイルを生成する	150
Manage-bde -Lock	
暗号化されたデータボリュームへのアクセスを禁止する	151
Manage-bde -Off	
ボリュームの暗号化を解除する	152
Manage-bde -On	
ボリュームを暗号化する	152
Manage-bde {-Pause -Resume}	
暗号化や暗号化解除、データ消去の操作を一時停止または再開する	156
Manage-bde -Protectors -Add	
暗号化したボリュームにキーの保護機能を追加する	157
Manage-bde -Protectors -AdBackup	
回復情報を Active Directory にバックアップする	158
Manage-bde -Protectors -Delete	
暗号化したボリュームからキーの保護機能を削除する	158
Manage-bde -Protectors -Disable	
暗号化したボリュームでキーの保護機能を無効にする	160
Manage-bde -Protectors -Enable	
暗号化したボリュームでキーの保護機能を有効にする	160
Manage-bde -Protectors -Get	
暗号化したボリュームで有効なキーの保護機能と ID を表示する	161
Manage-bde -SetIdentifier	
ボリュームの識別子フィールドを構成する	162
Manage-bde -Status	
ボリュームの暗号化状態を表示する	163
Manage-bde -Tpm	
TPM を有効化し所有者パスワードを設定する	164

Manage-bde -Unlock	
ロックされたデータボリュームへのアクセスを許可する	165
Manage-bde -Upgrade	
BDEのバージョンを更新する	166
Manage-bde -WipeFreeSpace	
使わないディスク領域のデータを消去する	166
More.com	
テキストをページに分けて表示する	167
Mountvol.exe	
ボリュームをマウントする	168
Ntfrsutl.exe	
ファイル複製サービス (FRS) を管理する	169
Openfiles.exe	
開いているファイルを操作する	171
Refsutil.exe	
ReFSファイルシステムを操作する	173
Refsutil FixBoot	
ブートセクタを修復する	173
Refsutil Leak	
クラスタリークを修正する	174
Refsutil Salvage	
破損したファイルを救出する	176
Refsutil Triage	
不完全なデータを修正する	178
Refsutil StreamSnapshot	
代替データストリームのスナップショットを管理する	179
Refsutil Compression	
ボリュームの圧縮機能を設定する	180
Refsutil DeDup	
データの重複を除去する	181
Replace.exe	
同名のファイルを上書き置換する	181
Robocopy.exe	
高性能ファイルコピーユーティリティ	182
Sort.exe	
テキストを整列する	188
Takeown.exe	
ファイルやフォルダの所有者情報を変更する	189
Tree.com	
フォルダツリーを表示する	190
Vssadmin.exe	
ボリュームシャドウコピーサービスを管理する	191
Vssadmin Add ShadowStorage	
シャドウコピーの記憶域関連付けを追加する	193

Vssadmin Create Shadow シャドウコピーを作成する	193
Vssadmin Delete Shadows シャドウコピーを削除する	194
Vssadmin Delete ShadowStorage シャドウコピーの記憶域関連付けを削除する	195
Vssadmin List Providers VSS プロバイダを表示する	195
Vssadmin List Shadows シャドウコピーを表示する	196
Vssadmin List ShadowStorage シャドウコピーの記憶域関連付けを表示する	197
Vssadmin List Volumes シャドウコピーで利用できるボリュームを表示する	198
Vssadmin List Writers VSS ライターを表示する	198
Vssadmin Query Reverts 復元操作中に進捗を表示する	199
Vssadmin Resize ShadowStorage シャドウコピーに関連付けられた記憶域のサイズを変更する	199
Vssadmin Revert Shadow シャドウコピーからボリュームの状態を復元する	200
Xcopy.exe ファイルとフォルダツリーをコピーする	201

At.exe 指定した日時にコマンドを自動実行する	204
Choice.exe 選択肢を表示してキー入力をうながす	205
Clip.exe テキストデータをクリップボードに取り込む	206
Cmd.exe Windows コマンドインタプリタ(コマンドプロンプト)を開始する	207
Forfiles.exe ファイルごとにコマンドを実行する	210
Runas.exe 別のユーザーの資格でプログラムを実行する	212
Schtasks.exe スケジュールタスクを操作する	213
Schtasks /Create スケジュールタスクを作成する	214

Schtasks /Change	
スケジュールタスクの設定を変更する	218
Schtasks /Delete	
スケジュールタスクを削除する	219
Schtasks /Query	
スケジュールタスクの設定を表示する	220
Schtasks {/Run /End}	
スケジュールタスクを実行または終了する	221
Schtasks /ShowSid	
スケジュールタスクのセキュリティIDを表示する	222
Setx.exe	
永続的な環境変数を設定する	222
Tasklist.exe	
プロセスの情報を表示する	225
Taskkill.exe	
プロセスを終了する	227
Timeout.exe	
キーを押すか時間を過ぎるまで処理を止める	228
Waitfor.exe	
シグナルを送受信して処理を同期する	229

Chcp.com	
コードページを設定する	232
Dism.exe	
Windowsのインストールイメージを操作する	233
Dism /Append-Image	
イメージをWIMファイルに追加する	234
Dism /Apply-CustomDataImage	
カスタムデータイメージに含まれるファイルを退避して領域を節約する	234
Dism /Apply-Ffu	
FFUイメージを適用する	235
Dism /Apply-Image	
FFU/WIMイメージを適用する	235
Dism /Capture-CustomImage	
ファイルの変更を増分WIMファイルにキャプチャする	237
Dism /Capture-Ffu	
ドライブのイメージをFFUファイルにキャプチャする	237
Dism /Capture-Image	
ドライブのイメージをWIMファイルにキャプチャする	238
Dism /Cleanup-MountPoints	
マウント中の破損したイメージに関連付けられているリソースを削除する	239

Dism /Cleanup-Wim マウント中の破損した WIM イメージに関連付けられているリソースを削除する	239
Dism /Commit-Image マウントされたイメージへの変更を保存する	239
Dism /Commit-Wim マウントされた WIM イメージへの変更を保存する	240
Dism /Delete-Image 指定したイメージを WIM ファイルから削除する	240
Dism /Export-Image 指定したイメージのコピーを別のファイルにエクスポートする	240
Dism /Get-ImageInfo FFU/WIM/VHD ファイルに含まれているイメージ情報を表示する	241
Dism /Get-MountedImageInfo マウントしている FFU/WIM/VHD イメージの情報を表示する	242
Dism /Get-MountedWimInfo マウントしている WIM イメージの情報を表示する	242
Dism /Get-WIMBootEntry 指定したボリュームの WIMBoot 構成エントリを表示する	242
Dism /Get-WimInfo WIM ファイル内のイメージ情報を表示する	243
Dism /List-Image イメージファイルに含まれるファイルやフォルダを表示する	243
Dism /Mount-Image FFU/WIM/VHD ファイル内のイメージをマウントする	244
Dism /Mount-Wim WIM ファイル内のイメージをマウントする	244
Dism /Optimize-Ffu FFU イメージを最適化する	245
Dism /Remount-Image 操作できなくなった FFU/WIM/VHD イメージを再マウントして回復する	245
Dism /Remount-Wim 操作できなくなった WIM イメージを再マウントして回復する	246
Dism /Split-Ffu FFU ファイルを読み取り専用の分割 FFU ファイルに小分けする	246
Dism /Split-Image WIM ファイルを読み取り専用の分割 WIM ファイルに小分けする	246
Dism /Unmount-Image マウント中の FFU/WIM/VHD イメージをアンマウントする	247
Dism /Unmount-Wim マウント中の WIM イメージをアンマウントする	247
Dism /Update-WIMBootEntry WIMBoot 構成エントリを更新する	248
Driverquery.exe デバイスドライバの情報を表示する	253

Eventcreate.exe	
イベントログにカスタムイベントを記録する	254
Logman.exe	
データコレクタセットを構成する	255
Logman {Create Update} Alert	
パフォーマンスカウンタの警告データコレクタセットを作成/変更する	258
Logman {Create Update} Api	
APIトレースデータコレクタセットを作成/変更する	260
Logman {Create Update} Counter	
パフォーマンスカウンタデータコレクタセットを作成/変更する	261
Logman {Create Update} Cfg	
システム構成情報データコレクタセットを作成/変更する	263
Logman {Create Update} Trace	
イベントトレースデータコレクタセットを作成/変更する	264
Logman {Import Export}	
データコレクタセットをインポート/エクスポートする	267
Logman Query	
データコレクタセットの設定を表示する	268
Logman {Start Stop Delete}	
データコレクタセットを開始/停止/削除する	269
Logoff.exe	
デスクトップセッションを終了してログオフ(サインアウト)する	269
Mode.com	
シリアルポートやコンソールなどを設定する	270
Msiexec.exe	
アプリケーションパッケージをインストール/アンインストールする	273
Powercfg.exe	
電源オプション(電源プラン)を設定する	276
Powercfg /Aliases	
エイリアスと対応するGUIDを表示する	279
Powercfg /AvailableSleepStates	
使用可能なスリープ状態のレベルを表示する	279
Powercfg /BatteryAlarm	
バッテリーアラームを構成する	280
Powercfg /BatteryReport	
バッテリーの使用状況レポートを作成する	281
Powercfg /Change	
電源プランの詳細な設定値を変更する	282
Powercfg /ChangeName	
電源プランの名前と説明を変更する	283
Powercfg /Create	
アクティブな電源プランをコピーして新しい電源プランを作成する	283
Powercfg /Delete	
電源プランを削除する	284

Powercfg /DeleteSetting 電源プランから電源設定を削除する	284
Powercfg {/DeviceEnableWake /DeviceDisableWake} デバイスによるスリープ解除を有効/無効にする	285
Powercfg /DeviceQuery 条件を満たすデバイスを表示する	286
Powercfg /DuplicateScheme 電源プランを複製する	287
Powercfg /Energy 電源効率の診断レポートを作成する	288
Powercfg /Export 電源プランをファイルに書き出す	289
Powercfg /GetActiveScheme アクティブな電源プランを表示する	289
Powercfg /GetSecurityDescriptor 電源プランのセキュリティ記述子を表示する	290
Powercfg /GlobalPowerFlag グローバルな電源プラン機能を設定する	290
Powercfg /Hibernate 休止状態を有効または無効にする	291
Powercfg /Import 電源プラン設定をファイルから読み込む	292
Powercfg /LastWake スリープ状態を最後に解除したイベント情報を表示する	293
Powercfg /List 利用可能な電源プランを表示する	293
Powercfg /PowerThrottling アプリケーションの電源調整を設定する	294
Powercfg /ProvisioningXml 電源プランのオーバーライドを含むXMLファイルを作成する	294
Powercfg /Query 電源プランの設定を表示する	295
Powercfg /Requests デバイスなどからの電源要求を表示する	296
Powercfg /RequestsOverride デバイスなどからの電源要求を上書きする	297
Powercfg /SetActive 電源プランをアクティブにする	297
Powercfg /SetACValueIndex AC電源使用時の電源オプションを設定する	298
Powercfg /SetDCValueIndex バッテリー使用時の電源オプションを設定する	299
Powercfg /SetSecurityDescriptor 電源プランのセキュリティ記述子を設定する	301

Powercfg /SleepStudy	
電源状態の変化に関するレポートを作成する	301
Powercfg /SrumUtil	
システムリソース使用状況モニタのデータベースをダンプする	302
Powercfg /SystemPowerReport	
システム電源切り替えの診断レポートを作成する	303
Powercfg /SystemSleepDiagnostics	
スリープ状態移行の診断レポートを作成する	303
Powercfg /WakeTimers	
アクティブなスリープ解除タイマーを表示する	304
Reg.exe	
レジストリを編集する	305
Reg Add	
レジストリキーやレジストリ値を作成する	306
Reg Compare	
2つのレジストリキーの下のレジストリ値を比較する	307
Reg Copy	
レジストリキーをコピーする	308
Reg Delete	
レジストリキーやレジストリ値を削除する	308
Reg Export	
レジストリキーをレジストリ登録ファイルに保存する	309
Reg Flags	
レジストリの仮想化フラグを操作する	310
Reg Import	
レジストリ登録ファイルを読み込んで恒久的に使用する	311
Reg Load	
レジストリハイブファイルを読み込んで一時的に使用する	311
Reg Query	
レジストリキーやレジストリ値を検索して表示する	312
Reg Restore	
レジストリハイブファイルを読み込んで恒久的に使用する	313
Reg Save	
レジストリキーをレジストリハイブファイルに保存する	313
Reg Unload	
一時的に読み込んだレジストリハイブを解放する	314
Regini.exe	
設定ファイルを使用してレジストリを編集する	314
Regsvr32.exe	
DLL ファイルを登録/削除する	317
Relog.exe	
パフォーマンスログから新しいパフォーマンスログを作る	318
Rundll32.exe	
DLL 内の関数を実行する	320

Sc.exe	
サービスを構成する	320
Sc Boot	
現在の起動設定を「前回正常起動時の構成」として保存する	322
Sc {Create Config}	
サービスを作成／編集する	323
Sc Control	
サービスに制御コードを送信する	325
Sc Delete	
サービスを削除する	326
Sc Description	
サービスの説明文を編集する	326
Sc EnumDepend	
サービスと依存関係のあるシステムコンポーネントを表示する	327
Sc Failure	
サービスのエラー回復設定を変更する	328
Sc FailureFlag	
サービスがエラーで停止したときの操作の有無を構成する	329
Sc GetDisplayName	
キー名を指定して表示名を表示する	329
Sc GetKeyName	
表示名を指定してキー名を表示する	330
Sc Interrogate	
SCMでのサービスの状態を更新する	330
Sc {Lock QueryLock}	
SCMデータベースのロックを操作する	331
Sc ManagedAccount	
サービスの実行ユーザーを「グループの管理されたサービスアカウント」に設定する	331
Sc PreferredNode	
サービスの優先NUMAノードを設定する	332
Sc Privs	
サービスの特権を設定する	333
Sc Qc	
サービスのレジストリ登録情報を表示する	333
Sc QDescription	
サービスの説明を表示する	334
Sc QFailure	
サービスのエラー回復設定を表示する	334
Sc QFailureFlag	
サービスがエラーで停止したときの操作の有無を表示する	335
Sc QManagedAccount	
サービスの実行ユーザーが「グループの管理されたサービスアカウント」か照会する	335
Sc QPreferredNode	
サービスの優先NUMAノードを表示する	336

Sc QPrivs	
サービスが要求する特権を表示する	336
Sc QProtection	
サービスのプロセス保護レベルを表示する	337
Sc QRunLevel	
サービスの最低実行レベルを表示する	337
Sc QSidType	
サービスのSID種別を表示する	337
Sc QTriggerInfo	
サービスの起動トリガーを表示する	338
Sc {Query QueryEx}	
条件を指定してサービスの情報を表示する	338
Sc QUserService	
ユーザーごとのサービスのインスタンス情報を表示する	340
Sc RunLevel	
サービスの最低実行レベルを設定する	341
Sc SdSet	
サービスのアクセス権をSDDL形式で設定する	341
Sc SdShow	
サービスのアクセス権をSDDL形式で表示する	342
Sc ShowSid	
サービスのSIDを表示する	343
Sc SidType	
サービスのSID種別を設定する	343
Sc {Start Stop Pause Continue}	
サービスを開始/停止/一時停止/再開する	344
Sc TriggerInfo	
サービスの起動トリガーを設定する	346
Shutdown.exe	
コンピュータをシャットダウンする	347
Sysprep.exe	
Windowsの展開用にシステムを準備する	350
Systeminfo.exe	
ハードウェアとソフトウェアの情報を表示する	352
Tpmtool.exe	
TPMの情報を表示する	353
Typeperf.exe	
パフォーマンスカウンタの現在値を表示する	355
Tzutil.exe	
タイムゾーンを表示/設定する	356
Usoclient.exe	
Windows Updateを実行する	357
W32tm.exe	
NTPサーバ/クライアントを構成する	358

W32tm /Config	
Windows Time サービスを構成する	360
W32tm /Debug	
Windows Time サービスのログを設定する	361
W32tm /DumpReg	
Windows Time サービスのレジストリ設定を表示する	362
W32tm /Monitor	
ドメインコントローラの時刻同期状態を調査する	363
W32tm {/NtpTe /NtTe}	
Windows 内部形式の日付時刻を読み取り可能な形式に変換する	364
W32tm /Query	
Windows Time サービスの状態を照会する	364
W32tm {/Register /Unregister}	
Windows Time サービスを登録 / 削除する	365
W32tm /Resync	
エラー統計情報を削除して同期しなおす	366
W32tm /Stripchart	
コンピュータ間の時刻のずれを追跡する	366
W32tm /Tz	
タイムゾーン設定を表示する	367
W32tm /LeapSeconds	
うるう秒の状態を表示する	368
W32tm /Ptp_Monitor	
PTP 通信を監視する	368
Wecutil.exe	
Windows イベントコレクタを構成する	369
Wecutil Create-Subscription	
新しいサブスクリプションを作成する	369
Wecutil Delete-Subscription	
サブスクリプションを削除する	371
Wecutil Enum-Subscription	
サブスクリプションを表示する	371
Wecutil Get-Subscription	
サブスクリプションの構成を表示する	371
Wecutil Get-SubscriptionRuntimeStatus	
サブスクリプションの実行状態を表示する	372
Wecutil Quick-Config	
Windows Event Collector サービスを構成する	373
Wecutil Retry-Subscription	
サブスクリプションを再実行する	374
Wecutil Set-Subscription	
サブスクリプションの構成を編集する	374
Weventutil.exe	
イベントログを管理する	378

Wevtutil Archive-Log	
イベントをローカルごとに展開して保存する	379
Wevtutil Clear-Log	
イベントを消去する	380
Wevtutil Enum-Logs	
イベントログ名を表示する	381
Wevtutil Enum-Publishers	
イベントの発行者を表示する	382
Wevtutil Export-Log	
イベントをエクスポートする	382
Wevtutil Get-Log	
イベントログの設定を表示する	383
Wevtutil Get-LogInfo	
イベントログ/イベントログファイルの状態を表示する	384
Wevtutil Get-Publisher	
イベント発行者の情報を表示する	385
Wevtutil Install-Manifest	
マニフェストファイルを使ってイベントログを作成する	387
Wevtutil Query-Events	
クエリを使ってイベントを抽出する	387
Wevtutil Set-Log	
イベントログの設定を編集する	390
Wevtutil Uninstall-Manifest	
マニフェストファイルを使ってイベントログを削除する	392
Whoami.exe	
自分のユーザー情報を表示する	392
Where.exe	
ファイルを検索する	396
Wmic.exe	
WMIコマンドインターフェイスを通じてシステムを管理する	397
Wuauclt.exe	
自動更新の更新プログラム検出プロセスを実行する	402
Wusa.exe	
Windows Update スタンドアロンインストーラ	403
索引	405